

大会規定

《競技運営》

1. 投手の投球回数は、1日70球までとする。4年生以下にあつては、1日60球までとする。
 - (1) 試合中に70(60)球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
2. 試合が6回を終了して同点の場合は、または、90分を経過し同点の場合は、ただちにタイブレーク方式を採用する。無死1・2塁の状態にして投手の投球制限を厳守の上、2回の延長戦を行い決着がつかない時は、抽選にて勝敗を決定する。
3. 3回以降10点差、5回以降7点差にて、コールドゲームを全試合で適用する。
4. 全試合、雨天・日没等での試合成立は5回終了をもってとする。
5. 暗転、降雨などで5回以前に中止の場合は、よく試合開催日に再試合を行う。(今大会は、特別継続試合は行わない。)
6. 延長戦は、競技者必携内の「競技に関する連盟特別規則」少年部・学童部・女子大会の項目に準ずる。
7. グラウンドルールは、70mラインを設定せずフリーとする。但し、セーレン・ドリームスタジアム外苑については外野後方の樹木に入った場合は審判員の判断で塁打を決定する。
8. ベンチは、抽選番号の若いチームが一塁側とする。但し、1日2試合の場合は、第2試合の勝者はベンチの移動はなしとする。
9. **監督は、会場到着後直ちに該当試合会場本部席へ打順表を取りに来ること。**
 - (1) 第1試合目のチームは、**試合開始予定時刻30分前までに**指定の打順表を本部席に提出し登録確認を受けた後、攻守の決定をする。
 - (2) 第2試合目以降のチームは、**前の試合3回終了までに**打順表を本部席に提出し、登録確認を受け攻守の決定をすること。
10. シートノックは、5分間とする。ノッカーも選手と同じ服装のこと。試合の進行状況、雨天時のグラウンド状態によりシートノックなしで試合を行うことがある。攻守決定の時に指示する。補助員としてコーチ2名を認める。ダートサークル内に入る補助員はヘルメット装着のこと。(選手の補助員はヘルメット装着厳守)
11. 捕手は、シートノック及び投球練習時、ヘルメット・レガーズ・プロテクター・ファウルカップ等を必ず装着すること。座って捕球する時はマスク装着を厳守すること。
12. 練習中でもユニホーム着装の指導者、選手以外は、競技場内にみだりに立入らないこと。
13. ベンチ入りする者は、全員スポーツに相応しい服装でチーム同一の帽子を着帽すること。
14. 登録選手の少ないチームにおいて、指導者が捕球を行う場合は、必ず捕手用具を全て装着すること。その場合は、必ずトスの時告げること。(立って捕球する場合は、用具の着装義務はありません)
15. 練習会場はありません。また、競技場の開門は7時を予定しています。競技場内でのアップ時にはバッティング練習は禁止します。(トスバッティングは認める。サンドボール・穴なきボールの使用も認める)
16. 各チーム対戦試合時、保護者3名の補助員をお願いします。(ボールボーイ2名・投球数計測1名)

《その他》

1. 健全なるスポーツの意義を深める為、『お互いのチーム、選手を励ます声援』をおくる応援を確立しよう。
2. チームの責任者は、参加選手の保護者より参加同意を必ず得ておくこと。スポーツ保険の加入は必須です。
3. 各会場及び各球場のスタンド、応援席は全面禁煙です。(喫煙は指定の場所がある場合のみ可とする。)
4. 球場スタンド、応援席、会場内外で出た「ゴミ」は、必ず持ち帰ること。

※ 特に、昼食時の弁当箱、ペットボトル等。

5. ベンチ裏及び周辺、バックネット、本部席周辺は関係者以外立ち入り禁止です。撮影も不可です。
6. 球場スタンド、応援席での応援は鳴り物禁止です。メガホン等を使用しての応援も控えてください。
7. 各会場の駐車場には制限があります。選手はもちろん、応援いただく保護者の方も乗合せにご協力ください。
※特に開会式は込み合います。路上駐車は絶対にしないこと。
8. 雨天の場合、当日の試合の有・無については、午前6時に下記の県軟連学童野球HPに記載する。

福井県軟式野球連盟 HPアドレス <https://fukui-jsbb.jp>